

嶺南の味 東京でPR

小浜ゆかり・神楽坂でフェスタ

観光地紹介 梅加工品200個完売

小浜にゆかりがある東京都新宿区の神楽坂商店街で19日、同商店街振興組合の「春の青空フェスタ」が開かれ、福井県などが出店して嶺南の特産品や観光地をPRした。若狭町、おおい町産の梅加工品は、用意した200個が完売する人気だった。

神楽坂は、江戸時代に大老を務めた小浜藩主・酒井忠勝が屋敷を構えた場所。神楽坂通りを通じて江戸城に参城したとされ、この縁をもとに2008年から同商店街などと連携して催しを開くなどして

いる。

フェスタへの出店は3度目。県や嶺南6市町などでつくる「海湖と歴史の若狭路発信事業」実行委9人が、買い物客らに若狭路ダーツゲームに挑戦してもらい、箸や磁器シール、若狭路クリアファイルなどをプレゼントした。

関心が高かったのは、大相撲優勝力士に贈られていた福井梅の梅干し約10*が入ったカップ。買い物客は「福井に梅のイメージがなかった」と話していたが、スタッフの説明を聞いて福井と梅に興味を

ダーツゲームなどで若狭の観光地、特産品などを売り込んだ福井県のブース＝19日、東京都新宿区の神楽坂商店街



持った様子。梅干しや梅シロ*ど梅加工品を次々と買い求め、梅のパウンドケーキなどを買っていた。
(佐々木紀光)